

協議内容

まずは、調査項目①「この10年間の安平町はどうだったか、どのように変化したか」について話し合いました。第2次総合計画では、Ⅰ 子育て、教育、Ⅱ 人づくり、コミュニティ、Ⅲ 経済、産業、Ⅳ 健康、福祉、Ⅴ 生活環境、生活基盤、Ⅵ 行財政運営の6つに分けて進めてきたことから、分野毎に内容をまとめています。

政策分野Ⅰ 子育て、教育

【就学前教育】

自然と共生するユニークな教育環境は町外からも注目を集めている。単なる宣伝文句ではなく、子どもたちが「ワクワクして通える」実態を伴った強みであり、教育を軸としたまちづくりは着実に成果を上げているという実感がある。

【学校教育】

- ・早来学園の開校などは、10年前にはなかった圧倒的な強みである。
- ・今後は幼小中の連携深化が期待される。

【追分高等学校】

道内の地方校が苦戦する中で、入学者数は高い水準を維持しており、独自の価値が確立されつつある。

政策分野Ⅱ 人づくり、コミュニティ

【地域コミュニティ】

- ・行政が関与しなくても、町民自らが主体的に取り組むことができる機会（合唱やフィットネスなど）がたくさんある。
- ・移住者同士の集まりもあるなど、コミュニティが充実している。
- ・軽種馬産業などで働く外国の方が急増しており、労働力として不可欠な一方、文化の違いから住民が抱く「漠然とした精神的不安」が、10年前にはない新たな課題である。
- ・自治会、町内会の加入率の低下に加え「誰が担当か分からないため会費を払いたくても払えない」「ゴミ出しの相談ができない」といった新住民との接点づくりの難しさがある。

【協働のまちづくり】

- ・20名を超える（令和8年3月末現在）協力隊員の受け入れと卒業生の多くが定住や起業（うどん店、ビール醸造など）している事実は、町の挑戦文化の象徴である。
- ・NPOが増えたことは、10年前との大きな変化である。
- ・一方で、PTAが解体したり、自治会/町内会はあるが子ども会はないといった変化もある。
- ・お祭りなどが年々縮小傾向にあり、かつては露店がずらりと並んでいた時代と比べ、子どもの数や出店数など、にぎわいが減っていると感じる。

今後の予定 次回も「町民まちづくり会議」についてご報告する予定です。

【第3次総合計画のページができました】

現在策定中の第3次総合計画に関する情報を町公式ホームページにまとめました。随時更新していきますのでご覧ください。「町民まちづくり会議」の詳細についても掲載しています。



【総合計画に関するご意見】

随時、受け付けています。インターネットからも受け付けていますので、ぜひご活用ください。右記二次元コードからもアクセスできます。

インターネット受付先：<https://www.harp.lg.jp/kyFPjdtc>

郵送先：〒059-1595 安平町早来大町95番地 安平町役場政策推進課 宛

FAX送付先：FAX②2026



総合計画に関する問合せ 政策推進課政策推進グループ ☎②2751